

別 添

三六災害50年 ログマーク



作成者：長野県飯田長姫高校 3年 荒井 優瑛(あらい ゆり)

山に囲まれ川の近くに住む伊那谷住民にとって、三六災害は非常に辛く悲しい体験でした。懸命な復興と以後の防災活動によって地域は見事に立ち直り、多くの教訓を残しました。そして50年を迎えた今日、私達は忘れかけている記憶を思い起こし、着実に継承し、防災意識に支えられた地域づくりを目指します。

このログマークは、災害を「青の風雨」で、復興を「緑の山」で、そして半世紀を経た今を「50」で表現し、三六災害と同じ風雨が起きても、同じ災害を起こさせないという願いを込めています。

三六災害50年実行委員会